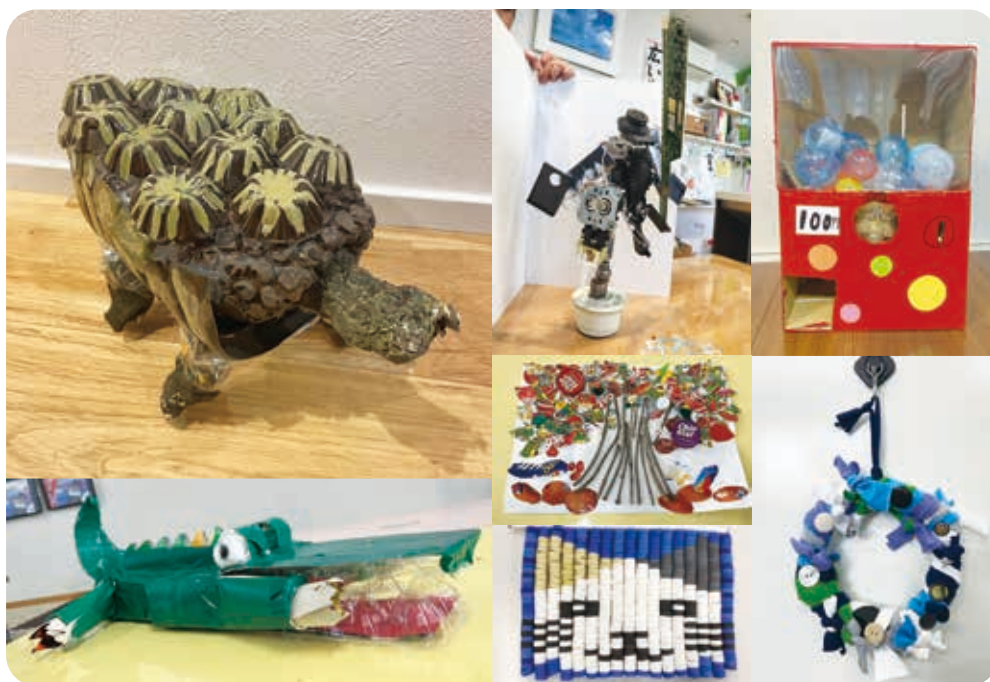


# 岡山 くりえん

No.68  
2024.1



石綿(アスベスト)に関する法改正が行われました



ASTEST

株式会社アステスト

# 岡山県内のアスベスト分析は アステストにおまかせください!

料金プラン [結果報告7営業日] ※検査が混み合っている場合は納期が変わります。

オンライン決済で  
購入できます!

定性分析

25,000円 (税別)

27,500円 (税込)

偏光顕微鏡法(JIS A1481-1) 建材中のアスベスト含有の有無  
6種類(クリソタイル、アモサイト、クロシドライト、トレモライト、アンソフィライト、アクチノライト)



1検体あたりの価格です。分析報告結果1通分 分析試料受付から7営業日以内に、検査結果をメールで送付いたします。

## アスベスト回収キットを無料送付!

正しくアスベスト検体を回収するためには、規定を守った採取をしなくてはなりません。規定に合わせた必要な包材を1つにまとめた専用キットをお送りいたします。これで複雑な採取もスピーディに確実に行えます。

### 回収キットの申し込み方法

右記のQRコードから、キットを購入ください。無料です。数日で専用キットがご指定の現場または会社へ届きます。



回収キット

採取箇所専用袋・・・10枚  
回収専用まとめ袋・・・1枚

## 現場を止めないために! 迅速・正確で解決!

岡山県内の  
専用ラボで検査

分析試料到着から  
7営業日以内に送付

gBiz報告に対応  
した報告書

まずはお電話ください



086-441-1145

[受付時間]  
9:00~17:00



info@astest.jp

本社

〒712-8032 岡山県倉敷市北畝1丁目23-5

ラボ

〒714-1215 岡山県小田郡矢掛町中170(三好組内)

<https://astest.jp/>

アステスト 岡山

検索



ASTEST  
株式会社アステスト

◆年頭あいさつ◆

- 一般社団法人岡山県産業資源循環協会 会長 大塚 雅司 2  
さらに持続可能な循環型社会に向かって 岡山県環境文化部 部長 大熊 重行 3  
自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継ぐことを目指して  
岡山市環境局 局長 見平 孝行 4  
地域循環共生圏（ローカルSDGs）の創造を目指して 倉敷市環境リサイクル局 局長 豊田 浩二 5  
年頭のご挨拶 公益社団法人全国産業資源循環連合会 永井 良一 6

◆行政NEWS◆

- 産廃の違法運搬を食い止める！～抜き打ち検査を実施しています～ 7  
廃棄物処理×脱炭素化によるマルチベネフィット達成促進事業 8

◆特集◆

- 協会設立30周年記念事業「廃材アートコンテスト」開催♪ 9

◆事業報告◆

- 第二回全国資源循環連合会女性部協議会女性部会 15  
第19回産業廃棄物と環境を考える全国大会に参加して 16  
令和5年度宿泊視察研修会報告 17  
令和5年度日帰り視察研修会に参加して 18  
管理者研修会報告・実務担当者研修会報告 19

◆支部ニュース◆

- 岡山西支部・岡山中央支部合同環境クリーン作戦 20  
東備支部 環境クリーン作戦 21  
倉敷支部 第27回 令和5年度倉敷地域環境クリーン作戦 22  
倉敷南支部 環境クリーン作戦 23  
井笠支部 井笠支部クリーン作戦 24  
備北支部 支部活動報告 備北支部 25  
津山支部 第27回津山支部環境クリーン作戦 26

◆青年部会のページ◆

- 2023年度青年部会勉強会を開催・全産連青年部協議会 全国大会in沖縄 27

◆委員会報告◆

- 全国産業安全衛生大会に参加して 28  
災害廃棄物委員会 29

◆趣味のコーナー◆

- 私の趣味：グルメ 30

◆会員紹介コーナー◆

- 東備支部 有限会社和気環境サービス 32  
賛助会員 ゼノー工具 株式会社 33

◆事務局だより◆

- 表紙写真ガイド／編集後記 34



\*右下のマークは、産業廃棄物適正処理のマスコット「てき丸君」です。

# 年頭挨拶

一般社団法人岡山県産業資源循環協会 会長 大塚 雅司



新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご厚情を賜り誠にありがとうございました。

昨年は、新型コロナ5類移行により社会活動もコロナ前に戻りつつありますが、物価高や人手不足など中小企業にとっては厳しい年となりました。そのような中、当協会は設立30周年を迎え、4月に名称を「産業廃棄物協会」から「産業資源循環協会」に変更し、5月には「設立30周年記念式典」を開催しました。9月に入り30周年記念事業として小学生を対象に「廃材アートコンテスト」を開催したところ100点もの応募があり、12月に上位20点の表彰式と作品展示を行ったところです。

この30周年行事は「限りある資源を子供達につなぐために」をテーマに実行委員会を組織し手作り事業を行いました。会員皆様のご理解とご協力を得て盛会裏に終えることができ、あらためて感謝申し上げます。

今年は辰年。上昇するものの象徴です。当協会は、30周年記念式典で発表した「今後のビジョン」に沿い、捨てる時代から活かす時代に、限りある資源を子供達につなぐために、社会の課題にチャレンジし続けたいと思いますので、引き続きご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

## <チャレンジ指針>

- ・IT技術の積極的活用を通して、安全管理のさらなる向上を目指す
- ・活かす技術の情報を収集し、積極的に発信する
- ・災害発生時に備え、自治体と連携し、知見を活かした処理による災害廃棄物のリサイクル率向上と迅速な対応により早期の復旧・復興を目指す

異常気象による災害が全国各地で発生し、地震や台風に加え線状降水帯という言葉もよく耳にするようになりました。災害廃棄物の処理は自治体にとって大きな課題となっている昨今、当協会は業界として脱炭素に取り組むことはもとより、災害発生時に災害廃棄物処理の協力要請があれば迅速に対応できる体制作りを進めて参りたいと思いますので、会員の皆様、また行政機関の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

おわりに、今年が皆様にとって、健やかな一年となりますようお祈り申し上げまして、新年の挨拶とさせていただきます。今年もよろしくお願い申し上げます。

# さらに持続可能な循環型社会に向かって

岡山県環境文化部 部長 大熊 重行



明けましておめでとうございます。

一般社団法人岡山県産業資源循環協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の環境文化行政の推進に多大な御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会は昨年で設立30周年を迎えられ、設立以来長年にわたり、産業廃棄物の適正処理、リサイクルの推進に係る各種普及啓発、各地域における不法投棄物撤去事業など、幅広い環境保全活動に熱心に取り組まれてきたことに深く敬意を表します。

また、平成30年7月豪雨災害の経験を踏まえた災害対応力の強化におきましても、貴協会の御協力を賜っており、今年度は、市町村が災害発生時に迅速かつ円滑に仮置場を設置し対応できるよう、鏡野町等において開催した災害廃棄物仮置場計画の検討会議等にも御協力いただいたところであり、あらためて御礼申し上げます。

さて、本県では、令和3年2月に岡山県環境基本計画(エコビジョン2040)を策定し、「より良い環境に恵まれた持続可能な社会」をスローガンに、循環型社会の形成やカーボンニュートラルへの対応、防災対策の強化など、本県の豊かな環境を次世代に引き継ぎ、持続的な発展につながる施策に全力で取り組んでおります。

その一環として、令和7年度を目標年とした第5次岡山県廃棄物処理計画を策定し、排出抑制や再生利用の推進による最終処分量の削減といった従来からの取組に加え、プラスチック資源循環法への対応や食品ロスの削減、海ごみによる海洋汚染などの新たな課題にも鋭意取り組んでいるところであります。

貴協会と会員の皆様方には、産業廃棄物の適正処理はもとより、さらなる循環型社会の形成の推進に向け、3Rの促進や県民意識の醸成等について、より一層の御理解と御協力を賜りますよう、引き続きよろしくお願い申し上げます。

終わりに、皆様方の益々の御発展を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

# 自然環境と調和した豊かな暮らしを 将来世代に引き継ぐことを目指して

岡山市環境局 局長 見平 孝行



令和6年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

設立30周年を迎えたことを機に、一般社団法人岡山県産業資源循環協会に名称を変更し、限りある資源を子どもたちにつなぐために、さらなる飛躍を志される貴協会に祝福と敬意を表します。

また、本市における廃棄物の適正処理及びリサイクルといった、循環型社会形成に向けた活動による多大な貢献に対し、心より感謝を申し上げます。

近年は、地球温暖化や海洋汚染など環境への影響が世界的な問題となっており、市民生活及び経済活動を持続可能なものにしていくためにも「脱炭素社会」及び「循環型社会」の実現に向けた積極的な取り組みが求められております。

こうした問題解決の一環として、本市では、本年3月より家庭から排出されるプラスチックごみの分別回収を始めて、資源の再製品化に取り組めます。

現在は、市民の皆様には正しい分別方法や貴重な資源であるプラスチックを再利用することの必要性に対する理解を深めていただけるようにホームページなどで啓発や周知に努め、円滑な分別回収が開始できるよう準備を進めているところです。

また、2050年までの二酸化炭素排出実質ゼロを目指し、令和5年6月に「岡山市脱炭素ロードマップ」を策定しました。

具体的には、岡山連携中枢都市圏と共同で、家庭での脱炭素化促進を目的に、ZEHの宿泊体験を始めとするZEH普及啓発事業を実施しています。また、脱炭素に繋がる取組等を効果的に発信することを目的に開設した「岡山市地球温暖化対策ポータルサイト」を通じ、再生可能エネルギーの導入拡大することでゼロカーボンシティ岡山を実現するための取り組みを進めています。

今後も、本市の環境像「豊かな自然と調和した持続可能なまち 岡山」の実現を目指して市民が環境問題に対する理解と関心を深めていけるよう、継続的な環境情報を提供していき、市民協働による環境づくりに取り組んでまいります。

貴協会並びに会員の皆様におかれましては、今後も廃棄物の適正処理やリサイクルなどで培った豊富な経験と知識を基に循環型社会の実現に向けたご助言を賜りますようお願い申し上げます。

また、令和9年3月31日に処理期限を迎えます低濃度PCB廃棄物においては、処理期限内の適切な処理の実施にお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりますが、貴協会並びに会員の皆様の益々のご発展を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

# 地域循環共生圏(ローカルSDGs)の創造を目指して

倉敷市環境リサイクル局 局長 豊田 浩二



令和6年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶びを申し上げます。

平素から、一般社団法人岡山県産業資源循環協会並びに協会会員の皆様方におかれましては、産業廃棄物の適正処理のための普及啓発や地域住民と連携した環境クリーン作戦、災害時の復興支援など、地域において多大な御貢献をいただき厚く御礼を申し上げます。また、昨年は貴協会設立30周年と協会の名称を一新された節目の年であり、5月に貴協会設立30周年記念式典が盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。

さて、令和元年末頃から瞬く間に世界中に広がり、国内でも爆発的に感染拡大した新型コロナウイルス感染症が昨年5月に5類感染症に移行し、コロナ禍前の「社会」「経済」が徐々に回復しつつあります。しかし、その一方で昨今の世界情勢の不安定化による資源・エネルギー価格の高騰や気候変動による異常気象の増加など、私たちを取り巻く「環境」は依然として多くの課題を抱え、「社会」「経済」「環境」のバランスは崩れつつあります。

日本における環境保全についての基本理念を定めた環境基本法が約30年前の平成5年11月に公布・施行され、その翌年に環境への負荷の少ない「循環」を基調とする経済社会システムの実現などを目指した第一次環境基本計画が策定されました。そして、現在の「第五次環境基本計画」では「社会」「経済」「環境」の課題を同時に解決するため、それぞれの地域が得意分野で個性や強み(地域資源)を活かした地域づくりを行いながら、地域同士で補完し支え合う「地域循環共生圏(ローカルSDGs)」の創造を目指しています。その中で特に重要となるのが、地域の主体性(オーナーシップ)と地域内外との協働(パートナーシップ)であるとされています。

貴協会がこれまでに培ってこられた技術や人材は、地域自らが課題解決を行うことのできる力(主体性)であり、地域住民との連携や会員同士のつながりは、地域と地域を結ぶネットワーク(協働)として地域循環共生圏の創造に必要な不可欠なものです。倉敷市としましても、技術開発や人材育成、地域活動への支援などを通じて、貴協会の掲げる“限りある資源を子供達につなぐために”必要な施策に積極的に取り組んでまいりますので、今後もより一層の御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、並びに御多幸を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

# 年頭のご挨拶

公益社団法人全国産業資源循環連合会 永井 良一



明けましておめでとうございます。

旧年中は、当連合会の諸事業に対し、皆様の多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。コロナ対応が社会に内在化される一方、ウクライナ問題などは治まらず、円安も長期化しておりますが、デフレ不況からようやく脱却できるのではないかといいた兆しもみられるところです。

さて、昨年4月から国では中央環境審議会循環型社会部会におきまして、循環型社会形成推進基本計画（循環基本計画）の5年ごとの見直しが行われております。これまでの審議を踏まえ中央環境審議会は、新たな循環基本計画の策定のための具体的な指針を10月に取りまとめ、環境大臣に意見具申しました。

この中で、重要なキーワードは、動静脈連携と脱炭素と言えます。他方、中央環境審議会循環型社会部会に「静脈産業の脱炭素型資源循環システム構築に係る小委員会」が昨年7月に設置され、次期循環基本計画の策定のための指針に示された新しい制度の内容を検討されています。具体的には、静脈産業、動脈産業、自治体、市民・消費者がそれぞれ連携しながら脱炭素に対応する資源循環体制の構築をしていくことや情報を通じた主体間の連携について議論が行われてきました。

この検討されている新制度について当連合会は、本業界の要望実現を国に働きかけることとしておりますが、今後さらに加速化するであろう脱炭素化と資源循環の統合に向け、脱炭素型資源循環システムの構築に賛同し積極的に参画していく考えです。

当連合会は、産業廃棄物処理業が目指すべき将来像として、「処理の受け手から、資源・エネルギーの創り手へ」をスローガンに掲げております。脱炭素と循環経済が統合された社会づくりに貢献する資源循環産業に発展していきたいと考えています。

資源循環産業を支える人材の育成・確保に資する事業や、その人材が安心して働くことができるよう、労働災害の発生を防止するための体制の強化に努めるなど、本年も様々な課題に取り組んで参ります。

また、近年多発する自然災害時における災害廃棄物処理について、これまで以上に社会的役割を果たしていくことが必要と考えています。

皆様の尚一層のご指導、ご鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。

最後に本年が皆様にとりまして、健やかな一年となりますようにお祈り致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。



岡山県からのお知らせ

# 産廃の違法運搬を食い止める!

## ～抜き打ち検査を実施しています～

### 1 取組の概要

岡山県では、産業廃棄物の適正処理を確保する方策の一つとして、県外からの産業廃棄物の搬入に係る事前協議制度を設けています。

この制度により、産業廃棄物の適正処理や県外からの搬入抑制に一定の効果が上がっていると思われませんが、事前協議を経ることなく県外から産業廃棄物が搬入されるケースも散見されます。

こうした背景から、平成15年度から年に数回、警察の協力を得て主要幹線道路において産業廃棄物を運搬している車両の抜き打ち検査を実施し、廃棄物の種類・性状、排出事業者、運搬先等を確認するとともに、マニフェストとの突合、必要書類の点検等を行っています。

### 2 路上検査の結果

令和5年は路上検査を2回実施しており、第1回は岡山県単独で、第2回は岡山市及び倉敷市と時期を統一して実施しました。

#### (1) 第1回(6月6日～6月8日に県内3か所で実施)

	岡山県
停車指示車両数	30台
うち産廃関係車両数	14台
うち指導台数	1台

#### (2) 第2回(10月17日～10月26日に岡山市及び倉敷市と時期を統一して県内5か所で実施)

	岡山県	岡山市	倉敷市	合計
停車指示車両数	34台	10台	9台	53台
うち産廃関係車両数	24台	3台	4台	31台
うち指導台数	5台	1台	1台	7台

### 3 違反事項と対策

- 過去実施分も含め、多い指導事項は、**車両への表示不備、有効な許可証の写しの不携行、マニフェストの不携行や記載不備**であり、すぐに改善できる内容ですので、この機会に確認をお願いします。
- 産業廃棄物を産業廃棄物でないと思いこみ運搬するケース**も散見されますが、契約締結時等の機会を捉えて排出事業者から排出工程等を聞き、所管行政庁に確認すれば未然に防げる場合がありますので、こうした確認を徹底していただき法令違反となるような事態を回避してください。

中国四国地方環境事務所からのお知らせ

(令和6年度予算情報)

# 廃棄物処理×脱炭素化による マルチベネフィット達成促進事業

中国四国地方環境事務所資源循環課

【令和6年度予算(案)1,322百万円(前年度2,000百万円)】

廃棄物エネルギーの有効活用等により、地域循環共生圏構築に資する  
廃棄物処理事業を支援します。

## 1 事業目的

- 廃棄物エネルギーを有効活用(発電等)等することで化石燃料の使用量を削減し、**社会全体での脱炭素化**を進める。
- 災害廃棄物の受入に関する地元自治体との協定の締結や地元産業へのエネルギー供給を交付の条件とすることなどにより、脱炭素化以外の政策目的の達成を図り、**地域循環共生圏の構築を促進**する。

## 2 事業内容

### (1) 廃棄物エネルギーの有効活用によるマルチベネフィット達成促進事業

・ 廃棄物エネルギーを有効活用し社会全体での脱炭素化に資する事業のうち、地元自治体と災害廃棄物の受入等に関する協定を結ぶことで、**地域のレジリエンスの向上に貢献し**、かつ、地域内での資源・エネルギーの循環利用による**地域の活性化や地域外への資金流出防止等**にする以下の事業を支援する。

- ① 廃熱を高効率で熱回収する設備(高熱量の廃棄物の受入増加に係る設備を含む)の設置・改良(熱や電気を施設外でも確実に利用すること)
- ② 廃棄物から燃料を製造する設備(製造した燃料が確実に利用されること)及び廃棄物燃料を受け入れる際に必要な設備の設置・改良

### (2) PCBに汚染された変圧器の高効率化によるCO2削減推進事業

高効率変圧器の導入によるエネルギー起源CO2の排出削減、**交換により発生するPCB廃棄物の早期処理による災害時の環境汚染リスク低減等の政策目的の同時達成を図る**ため、変圧器のPCB含有の有無の調査及びPCBに汚染された変圧器の高効率変圧器への交換(リースによる導入も対象)に要する費用の一部を補助する。

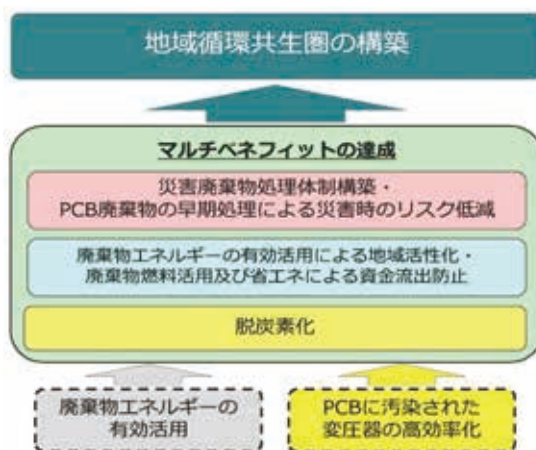
## 3 事業スキーム

- **事業形態** 間接補助事業(補助率 1/3、1/10)
- **補助対象** (1) 民間事業者・団体等、(2) 民間事業者・団体
- **実施期間** (1) 令和2年度～令和6年度、(2) 令和5～令和8年度

## お問い合わせ

環境再生・資源循環局 廃棄物規制課(03-6205-4903)  
又は廃棄物適正処理推進課(03-5521-9273)

## 4 事業イメージ



特集

協会設立30周年記念事業

キッズ はいざい

# 廃材アートコンテスト 開催



## 作品募集

当協会は令和5年に設立30周年を迎え、記念事業として岡山県内の小学生を対象とした「廃材アートコンテスト」を開催しました。

8月中旬に募集チラシを作り会員の協力を得て周知し、9月1日から10月31日の募集期間中に100点もの作品の応募がありました。

1年生	14点
2年生	15点
3年生	20点
4年生	18点
5年生	23点
6年生	10点
合計	100点

一般社団法人岡山県産業資源循環協会設立30周年記念事業

はいざい 廃材アートコンテスト

最優秀賞 賞状+副賞5万円

こうさく!かいか! どちらもじやう!!

募集要項

開催日時  
2023年9月1日～2023年10月31日

応募対象  
岡山県内小学生

応募方法(応募はつり紙まで)  
募集期間内に、当協会ホームページから作品の写真を送付して申し込み、一次選考を通過した入賞者は、作品を当協会まで送付または持参する。

賞状選考方法  
一次選考や入賞20作品を選考する。入賞者の中から審査員による2次選考を経て各賞を決定する。

各賞発表時期  
入賞発表:2023年11月15日、各賞発表:2023年12月1日

◎各賞ノ  
最優秀賞1点 賞状+副賞5万円  
優秀賞3点 賞状+副賞2万円  
特別賞3点 賞状+副賞2万円  
入賞13点 入賞13点

作品の基準について  
作品は捨てられる家庭ゴミ、廃材を使ったものとし、購入した素材は不可とする。ただし接着剤、他の異物作品制作に必要な素材、絵画のための画紙等については購入したものでも可。作品移動時に破損しやすい状態での持ち帰りは不可とする。大きさは縦横高50cm以内とし、絵画等は4つ切り以内とする。

応募作品の取り扱いについて  
応募された作品は、当協会が定める場所にて展示発表をした後、返却する。

岡山県岡山市北区津島628-6 TEL: 086-254-9383  
ホームページアドレス: <https://okayama-junkan.or.jp/>

応募問い合わせ先 一般社団法人岡山県産業資源循環協会

## 一次審査

10月9日、応募写真による一次審査を行いました。30周年行事は「限りある資源を子供達につなぐために。」をテーマに、会員による手作り事業を行ってきており、5月の記念式典、記念講演、祝賀会に続き、今回の記念事業も手作りで行うこととし、審査員は実行委員会メンバーで行いました。名前は出さずに応募写真と学年、テーマ、作品への思いを見ながら、審査員が100作品それぞれにポイントを入れ、11名の審査員のポイントを集計して上位20点を選び入賞作品を決定しました。

人によって感性が異なるため、各作品の集計の時には審査員がポイントを入れるたびに「おー!」、「えー?」などの歓声があがり、審査会場は厳正な中にも和やかな雰囲気でした。



## 二次審査

12月1日、入賞作品20点の応募者から実際の作品を提出してもらい二次審査を行いました。審査員は理事会メンバーの24名で行いました。協会会議室に展示された入賞作品20点及び応募者の情報を見ながら、役員の方々にそれぞれの作品にポイントを入れてもらい、これを集計して最優秀賞1名、優秀賞3名、特別賞3名を決定しました。各賞にもれた方は入賞が決定し、入賞以上の作品を表彰す

ることとしました。審査員となった役員の皆さんは「どの作品も素晴らしい出来で、評価するのが大変だった。」とこぼしながらも、普段の理事会とは違った雰囲気の中で楽しいひと時を満喫されていました。

## 青年部会記念作品

展示会場に華を添えるため協会の青年部会が記念作品を作ることとなりました。子供たちの応募した作品より大きく少し大人の作品を制作することとし、11月から準備にかかり11月28日、青年部会役員が協会の会議室に集まりみんなで仕上げていきました。作品名は「カラフルペンギン」。海洋プラスチック問題をテーマとした作品で、プラスチックごみを身にまとったペンギンを表現しています。お腹と背中部分はあえて飾りつけを行わず、展示会場で表彰式の日受賞者の子供達に飾りつけをしてもらい作品を仕上げる企画としました。



## 作品展示、表彰式

12月26日、クレド岡山3階の特設会場で表彰式を行いました。前日から会場準備を行い協会に置いていた入賞作品20点を会場まで移動しました。子供たちの作った作品はどれも壊れやすいので、事務局は細心の注意を払いながら梱包し車で運び込みました。青年部会のカラフルペンギンも前日に運び込み、12月26日の表彰式から1月8日まで子供達の作品とともに展示しました。

表彰式には、3名が欠席されましたが受賞者17名と保護者約21名、協会関係者約15名、報道関係、会場スタッフ等の総勢約60名が参加しました。

会場は店舗ビルの一角で、大声禁止でマイクなしの進行となりましたが、司会の三好員弘実行委員長の大きな声が会場に響き渡り、受賞者の子供達は大塚雅司会長から表彰状と副賞を受け取りました。その後、青年部会の宇野公二会長が青年部会の記念作品「カラフルペンギン」の紹介があり、参加し

た子供達や保護者などはペンギンの前に行き、楽しそうに廃プラの包装紙の切端を糊で貼り付けていました。そして、受賞者の子供達の集合写真等を取り表彰式を閉会しました。

表彰式終了後、最優秀賞に輝いた6年生の子は、はじめてのテレビ局のインタビューに緊張しながらもニコニコ顔で応えていました。

表彰式に参加した受賞者の家族は、自分の作品の前に行き思い思いに記念写真をとって帰りました。

## 表彰式プログラム

- オープニング
- 開会あいさつ
- 表彰状授与
- 青年部会記念作品の紹介
- 記念写真
- クロージング

## 廃材アートコンテスト 受賞者名簿

表彰区分	作品名	学校名	学年	受賞者名
最優秀賞	亀	岡山市立大野小学校	6年生	沖野 笑鈴
優秀賞	ベリアルラドン	岡山市立三勲小学校	3年生	氏平 夏海
優秀賞	僕の遊べるガチャガチャ	高梁市立成羽小学校	5年生	小松田 仁智
優秀賞	ぱっくんワニさん	岡山市立南輝小学校	1年生	中間 絢斗
特別賞「カラフルde賞」	おかしの木	岡山市立南輝小学校	1年生	荒木 結衣
特別賞「おしゃれde賞」	古Tシャツdeリース	倉敷市立菫小学校	5年生	井口 遥貴
特別賞「アイデア賞」	ミケのすだれ	新見市立西方小学校	6年生	坂本 梓織
入賞	ロボット文房具入れ	倉敷市立第一福田小学校	2年生	岡下 未来
入賞	不思議な水たまり	岡山市立南輝小学校	4年生	小畠 結愛
入賞	ミスタードーナッツ	岡山市立甲浦小学校	2年生	片岡 鈴
入賞	ルピッシュ(ゴミ)シャンデリア	岡山市立南輝小学校	6年生	葛原 翔太
入賞	B-29 エノラゲイ号	倉敷市立帯江小学校	2年生	栗栖 悠之介
入賞	目指せホールインワン!!	矢掛町立矢掛小学校	4年生	黒川 紗羽
入賞	野兎 ウサギ	岡山市立津島小学校	5年生	坂井 ちよ
入賞	牛乳パックの帆船	倉敷市立連島南小学校	3年生	塩見 ひなた
入賞	ゴミだらけの地球	ノートルダム清心女子大学附属小学校	5年生	田中 千奈月
入賞	わたしの気球	岡山市立平井小学校	1年生	田中 陽真厘
入賞	広い海を泳ぐカジキ	笠岡市立大島小学校	2年生	二階堂 樹
入賞	ゴミで作った豊かな公園	倉敷市立葦高小学校	4年生	三好 悠登
入賞	オセロゲーム	倉敷市立第二福田小学校	5年生	山内 菜々実







最優秀賞 沖野さん



## おわりに

30周年記念行事は今年で終わりですが、来年以降も「廃材アートコンテスト」を続けていきたいと願っています。





## 第二回 全国資源循環連合会 女性部協議会女性部会

株式会社フクイクリーン 代表取締役 上杉有梨

### ■ 第二回女性部会のつどいに参加したきっかけ

- ・全国女性部につどいグループラインからのお誘い
- ・岡山県資源循環協会 事務局からのお誘い

### ■ 全国女性部のつどいに参加して感想

全国から約40名の方が参加していました。

全国産業資源循環連合会女性部協議会 会長 二木 玲子 氏の開会挨拶からはじまり、ランチ会をととして産業廃棄物業、資源循環リサイクル業で働く女性部会の皆様と交流させていただきました。

その後、「多様な人材が働きやすい安全な職場づくり」をテーマに厚生省労働局 安全衛生部 佐藤 誠氏による、お話をパネルディスカッション形式で拝聴しました。

職場づくりや人材確保、定着率向上、人材育成、労働災害ゼロを目指して、業界全体でも課題になっていることへの問題解決など、企業という枠を超えてざっくばらんに、参加者の方とお話ができ参考になる会でした。

### ■ これから新たに女性部会へ参加される方へ メッセージ

経営者だけでなく、全国で産業廃棄物業、建設業、リサイクル業、廃棄物と関わりのある職業の方、業務上、全国には様々な悩みを抱えていらっしゃる方が数多くいます。

一人で悩んでも解決するわけではありません。

辛いことも、楽しいことも共有できる仲間がいることで、モチベーション向上に繋がることもあります。

全国どこからでもアクセスをいただき、交流や意見交換又はネットワークを築いてみてはいかがでしょうか？



全国資源循環連合会女性部協議会  
会長 二木 玲子 氏

# 第19回産業廃棄物と環境を考える 全国大会に参加して

株式会社フクイクリーン 代表取締役 上杉有梨

令和5年11月10日（金）産業廃棄物と環境を考える全国大会がグランドニッコー東京台場にて4年ぶりに開催されました。

全国から約300名以上の方が参加し、全国産業資源循環環境連合会会長 永井会長の開会のご挨拶をいただき、次に環境大臣表彰式典へ、全国28名の方が表彰され、日頃のご活躍はもとより産業と資源循環への功績が評価された場でありました。

次に、環境省環境再生・資源循環局次長 角倉 一郎氏 より、「循環経済への移行による『新たな成長』の実現」講演を拝聴しました。

資源循環（サーキュラーエコノミー）で目指すカーボンニュートラル、プラスチックごみの削減とリサイクルの促進を目指す「プラスチック資源循環法」施行から1年が経ち、カーボンゼロ社会を目指す上で、プラスチックをはじめとした様々な資源を効率的且つ持続可能的に循環させる重要性はさらに増しています。

角倉氏のお話の中には、2030年までにサーキュラーエコノミー 関連ビジネスへの市場規模を50兆円から80兆円以上までにする中で、2つの取組みを実施中であること。

一つは、国の循環型社会形成推進計画の見直し、二つ目はカーボンニュートラルと資源循環を一体的な取組にする制度の見直しを検討していることなど。

また、再資源化が、私たちの生活と密接に関連する身近な課題や、SDGsの達成が個々の国、地域、企業、そして個人の取組みの積み重ねによって実現すること。

「資源循環（サーキュラーエコノミー）」による持続可能で強靱な社会の実現に向けて、さまざまなステークホルダーが現状を共有し、成長することなど、他有意義な講演でした。



環境大臣表彰式典の様子



懇親会の様子

## 令和5年度 宿泊視察研修会報告

令和5年11月20日～21日、熊本市で宿泊視察研修会を開催しました。視察先は30年豪雨災害の時に岡山県の災害廃棄物処理の協力をいただいた「有価物回収協業組合 石坂グループ」の本社工場を訪れました。協会の参加者は大塚会長以下21名で、石坂グループは代表理事の石坂孝光様、石坂広徳様ほか数名のスタッフが対応してくれました。

この組合は1979年創業の有価物回収事業者で、製鋼原料、製紙原料、非鉄金属、ガラスカレット、RPF、再生樹脂等の回収加工と、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬、リサイクル処理等を行っています。

研修室で会社概要の説明を受けた後、各工場や施設を見学して回りました。古紙の選別工場、古紙の加工工場、PETボトルの選別工場、PETボトルの破碎工場、ビン缶の選別工場、ガラスカレット工場、プラスチック選別工場、金属の破碎選別工場、廃車・廃家電処理工場など、広い敷地内に多くの工場棟が立ち並んでおり、そのスケールの大きさと設備の多種多様さに目を見張りました。



見学の後、研修室に集まり、石坂代表理事から組合の生い立ちと経営理念をお聞きし、「外資系大企業進出への対応は？後継者育成の方策は？」との質問に、「魅力ある職場作りを目指し労働条件の改善に取り組むとともに、後継者確保のため企業の魅力を発信するためスポーツ分野の振興にも取り組みたい。」とのコメントをいただき大いに参考となりました。

今回の視察あたり対応していただいた石坂グループの石坂代表理事以下スタッフの皆様、ありがとうございました。



# 令和5年度 日帰り視察研修会に参加して

備北支部 三美産業(株) 生田卓士

■日 時 令和5年11月17日（金）9：00～17：30

■場 所 兵庫県丹波市山南町谷川858 兵庫パルプ工業株式会社  
今回は兵庫県にある兵庫パルプ工業株式会社さんを訪れました。

兵庫パルプ工業株式会社はUKP（Unbleached Kraft Pulp 未漂白クラフトパルプ）の製造販売と発電事業の二本立てで、現在の日本でUKPを販売しているのは兵庫パルプ工業さんだけだそうです。クラフトパルプの使われ方としては6割が段ボールの原紙、3割が建材で、外装用サイディングボードや屋根材で、アスベストの代替え材として注目されています。残りの1割が特殊紙で絶縁紙として使われるそうです。

パルプを作るシステムは全世界共通で、木材のチップの繊維分がパルプになるそうですが、繊維と繊維を引っ付けているリグニンを溶かす必要があるそうです。（苛性ソーダがメインで使用される。）チップの約半分がパルプに、残りの半分はリグニンや松脂などの脂分が混ざった薬液でこの薬品以外はバイオマス燃料になるため燃やして発電し、残った薬品は再度精製して苛性ソーダにする。

発電は全てバイオマス燃料で、兵庫パルプ工業さんで使われる設備の電気を賄っており、余剰分は電力会社へ売電しているとの事でした。

バイオマス発電の4号機では、以前までなら産業廃棄物として処分する製廃材、解体材といったリサイクル材をメインにしているとの事で、原料も燃料もそのまま放置していたら土に還るしかないものを有効利用して、パルプと電力にリサイクルしている。しかもリサイクルする過程でほとんど無駄がないということです。

他の産業廃棄物も兵庫パルプさんのようにはいかないかも知れませんが、きちんと分別を行い正しく処分をすることにより少しでもリサイクル率を上げていければと思います。



## 管理者研修会報告

令和5年9月19日、岡山市北区芳賀のテクノサポート岡山において、「産業廃棄物管理者研修会」を開催しました。今回の研修会は労働安全衛生研修会として開催し、講師を岡山労働局健康安全課にお願いし、労働安全委員会の委員が協力して開催しました。



協会会員から60名の申込があり、当日52名が参加されました。

開会挨拶は大本委員長が行い、閉会挨拶は室山副委員長が行いました。

最初に、岡山県内における労働災害の発生状況の説明があり、実際に労働災害が発生時の対応について説明がありました。続いて、法改正の動向について説明がありアスベスト廃材の取扱いについて参加者は熱心に耳を傾けていました。



## 実務担当者研修会報告

令和5年10月25日、岡山市北区芳賀のテクノサポート岡場で、産業廃棄物実務担当者研修会（1回目）を開催しました。協会会員54名から申し込みがあり、当日51名が参加されました。岡山県循環型社会推進課から講師を招き「産業廃棄物の委託処理に係る法令等」の講義をした後、協会事務局が指導者となり「委託契約書及びマニフェストの作成実習」を行いました。参加者は日頃の業務で行っている実習で、実務の確認を行いました。

2回目は令和6年1月26日に開催し参加者は30名でした。



岡山西・  
岡山中央  
支部

## 岡山西支部・岡山中央支部 合同環境クリーン作戦

- 実施日時 令和5年11月7日(火) 8:00~11:30
- 実施場所 岡山市南区宮浦地内金甲山、貝殻山周辺
- 参加人数 111名(地元議員、行政職員、地元町内会、会員)

作業日の前日は大雨が降り、当日の作業に影響が出ることが懸念されましたが、当日の朝は快晴となり、予定通り、岡山西支部および中央支部での合同清掃活動を行いました。

当日は環境省や岡山県、岡山市などの関係行政職員を始め、太田県議、江田市議、各支部の会員、また地元町内会からも多数の方にご参加頂き、総勢111名での活動となりました。

前日の雨によって斜面が多少滑りやすくなっており、またごみも水分を含んでいて、清掃活動も例年よりも安全に配慮しながら行い、事故・怪我無く無事作業を終えることが出来ました。

収集したごみの量は約10トンで、今年は大きな粗大ごみが少なかったが、多くのタイヤが不法投棄をされていました。

ご参加下さった多くの皆様、本当にありがとうございました。これからも不法投棄ゼロに向けて、ご協力を宜しくお願い致します。



東備  
支部

# 東備支部環境クリーン作戦

- 実施日 令和5年11月18日 土曜日
- 場所 備前市蕃山地区 R260 八木山日生線 法面
- 参加者 15名 会員 12名  
会員外 3名（備前市役所環境課担当職員、地元区長）
- 看板設置 4カ所

数年ぶりにクリーン作戦を実施致しました。今回、要望のあった備前市役所担当者及び地元区長さんにも休日の早朝から参加して頂き、支部会員様の協力のもと無事に不法投棄再発防止啓発活動を終えることができました。処分場の皆様を含め関係者の方々に感謝申し上げます。

今回、下見調査の段階では危険な斜面での活動にはなるが、対象物や活動範囲のボリュームは少ないと想定しておりましたが、しかし実際活動を開始してみると、ゴミが多く散乱しており、気付けば広範囲におよびました。参加された皆様の現場での使命感及びご厚意を深く感じました。

また、タイルなどの廃棄物が多く目立ち、タイヤや鉄くずのような産業廃棄物も多く捨てられていました。

引き続き、不法投棄を撲滅する啓発活動に努め続けることが大切だと感じました。

参加された皆様、お疲れさまでした。



倉敷  
支部

## 第27回 令和5年度 倉敷地域環境クリーン作戦



- 実施日 令和5年8月22日(水) 8:30~11:00
- 場所 倉敷市粒江地内及び倉敷市船穂町柳井原地内
- 参加者 会員19名  
 会員以外 倉敷市環境衛生協議会 粒江支部支部長 中村氏  
 倉敷市環境衛生協議会 船穂地区 鈴木会長 他3名  
 倉敷市環境リサイクル局リサイクル推進部 大江参事
- 使用車両 2台
- 廃棄物撤去量 1.63トン(スレート、コンクリートくず、冷蔵庫、テレビ、タイヤ等)
- 看板設置 0本

倉敷支部では、これまでの不法投棄防止に係る啓発活動が功を奏したのか、今ではありがたいことにクリーン作戦の実施場所の選定に苦勞するほどになっています。しかし、今回は昨年実施した場所を再度実施することになりました。

倉敷市環境リサイクル局リサイクル推進部産業廃棄物対策課より倉敷市環境衛生協議会船穂地区から不法投棄事案を受けているので対応してもらいたいとの相談があり、役員を中心にした少人数で対応は可能と判断し準備を進めていたところ、急遽、昨年実施した粒江地内の同じ場所へ不法投棄されている事案が舞い込んだため予定を変更し、粒江地内と船穂地区の2カ所を役員企業中心で対応することとしました。

作業当日は晴天に恵まれ、早朝より倉敷市の支部役員をはじめ、支部の皆さんが集合しました。

井上支部長、倉敷市大江参事の挨拶後に、本日の作業の説明、ケガや事故のないようしっかりと注意事項等を確認後、回収作業を開始しました。

当初は、不法投棄されている廃棄物量は少ないと予想していましたが、いざ始めると落ち葉の下から、昨年のごみとは異なる新たなコンクリートくずやスレート等がどんどん出てきました。途中で役員数名が船穂地内への移動～回収作業を行うため、2班に分かれることに。

約2時間で粒江地内および船穂地内の廃棄物はほぼ回収することができ、最後に粒江地区では倉敷市環境衛生協議会中村氏、船穂地区では鈴木会長より会員へ向けにお礼の言葉をいただきました。

コロナ禍にもかかわらず、倉敷支部の企業の皆さまには積極的にクリーン作戦に参加いただき感謝します。引き続き、不法投棄一掃に向けて、倉敷支部の皆さんと力を合わせて啓発活動を続けていきたいと思ひます。ご協力いただきました皆さまにあらためてお礼を申し上げます。



倉敷南  
支部

## 環境クリーン作戦



- 実施日 令和5年11月25日(土)
- 実施場所 倉敷市児島 鷺羽山スカイライン周辺
- 参加人数 会員18社、26名
- 処分量 510kg

今年も例年通り倉敷市鷺羽山スカイライン周辺のクリーン作戦を実施致しました。

当日は気温は低かったが、天候は良くクリーン作戦日和となり会員各社26名の皆様に参加していただきました。

クリーン作戦の準備にあたり、支部役員で市役所、水島警察署及び児島警察署の担当課に不法投棄ゴミの有無を確認致しましたが、倉敷南支部管内には目立ったものは無いとの回答を得、日頃の支部活動が生きてきていることを実感致しました。

回収は3カ所に分かれ雑木林の斜面での作業となりました。回収物の種類は、冷蔵庫、吸殻、空き缶、弁当殻等様々なものがありました。回収後は不法投

棄禁止の立て看板を新たに設置し終了しました。

参加くださいました支部会員並びに、関係者の皆様の御協力有難うございました。



井笠  
支部

## 井笠支部クリーン作戦

- 実施日 令和5年11月15日(水) 8:30~12:00
- 実施場所 浅口市鴨方町道路法面
- 参加者 31名(支部会員21名、地元自治会5名、浅口市役所3名、県民局2名)
- 回収量 6トン(冷蔵庫、空き缶、ソファ、タイヤなど)

井笠クリーン作戦は令和5年11月15日(水)に晴天のもと行われました。今回は地元自治会からも参加頂き、道路脇の急斜面での撤去作業となりました。

谷底にあり、人力では撤去困難なため、地元からの強い要望があり当該場所が実施場所に選定されました。

転倒防止のロープを張り、小さいごみは殻袋に入れ、それを大型土のうにまとめて4tユニックでつり上げる作業となりました。谷底まではフックが届かないため延長ロープを何回も掛け直しながら安全に留意しつつ作業を行うことができました。冷蔵庫などの大型ゴミは直接ロープで荷掛けしてのつり上げ作業となりましたが荷重が重く難作業となりました。



その後、回収されたゴミは再分別のために浅口市の最終処分場へと搬入し作業を完了しました。

環境クリーン作戦に参加いただいた皆様ありがとうございました。今後もこの活動を続けていきたいと思えます。



備北

支部

## 支部活動報告 備北支部

今年の新見地域環境クリーン作戦は10月19日(木)に行われました。

新見市環境衛生協議会が毎年実施しているクリーン作戦に、新見市と岡山県産業資源循環協会備北支部が参加協力しているもので、備北支部会員はクリーン作戦用の青ジャンパーを着用して参加しました。

主催者のご配慮で、出発式では皆様の前で備北支部が挨拶する機会を頂き、協会の名称変更の経緯や、環境活動への想いも含めお話させて頂きました。



実施エリアは、新見市草間地内、高梁川沿いにある絹掛の滝周辺で行いました。新見市、新見市環境衛生協議会、岡山県産業廃棄物協会備北支部から約50名が集まり、備北支部からは12名が参加して、空き缶、ペットボトル、弁当ガラなど約4㎡を回収しました。近年の豪雨等により、木々に引っかかったり土砂に紛れたりしているものが多くあり、タイヤなど大きいものもありましたが、別団体とも役割分担をしながら、分別を行いながら、事故もなく無事終了しました。



昨年に引き続き今年も参加者が多く、皆さんの手際のよい作業のため道路沿いはきれいになりました。

この新見市環境衛生協議会主催のクリーン作戦は来年も行われるので、引き続き参加していきたいと思います。地域の方の協力のもと、無事クリーン作戦が終了することができましたことに改めて感謝申し上げます。



津山

支部

# 第27回 津山支部環境クリーン作戦



1. 実施日時 2023年10月27日（金） 9：00～12：00
2. 実施場所 津山市田熊地内
3. 参加人数 51名（会員27名、美作県民局4名、津山市10名、地元住民10名）
4. 回収量 計3,990kg（可燃物、不燃物、粗大ゴミ、古タイヤ、スクラップ、廃家電等）

今年の津山支部環境クリーン作戦は津山市田熊地区内で行いました。

この場所は5年前に実施した所ではありますが、土地所有者の関係で全撤去はできておりませんでした。残念ながら今回も全撤去は叶いませんが、最近また同地で不法投棄が増えたことを鑑みて、再度一部撤去と不法投棄抑止の為の再整備を目的に活動を実施しました。

作業場所は道幅が狭く、車両の入れ替えができないことから非常に作業が難しい環境でしたが、参加者皆様のご協力で非常にスムーズに進めることができました。ゴミは可燃物、不燃物、粗大ゴミ、古タイヤ、スクラップ、廃家電等あり、特に廃家電が多いことが特徴でした。今回の活動で回収したゴミの量は3,990kgと前回と比べると少ない量でしたが、市道沿いは綺麗にすることができました。

一旦きれいにしても、現状はたちごっこの繰り返しとなってしまうので、ゴミは回収するだけでなく、追加で捨てさせない工夫も必要なんだと改めて感じました。今回は、協会から看板を多めに頂いて間隔を狭めて立てたり、ロープを二重にしたりして少しでも捨てにくい対策を試みましたが・・・、効果があることを願います。

この日、回収したゴミは、津山市や会員各社からご協力頂いた車両に載せて運び出し、12時前に作業は終了しました。

午後は雨の予報だったので、予定通り作業が終了して良かったです。

最後に、不法投棄をすれば、一時的にはゴミが手元から離れますが、結果的に山中や海などの自然を汚染し、私たちに悪影響として跳ね返ってきます。今後不法投棄がなくなり、すべてのゴミが適切な方法で処理されることを強く願います。



## 2023年度青年部会勉強会を開催



青年部会では2023年12月15日(金)「岡山県産業資源循環協会青年部会主催勉強会」を“ピュアリティまきび”にて開催いたしました。講師として、池永経営会計税理士事務所 税理士 谷口真一氏をお迎えし、「税額控除と特別償却どちらが得か? -節税の考え方-」というタイトルで講演をしていただきました。

冒頭の宇野会長開会挨拶にて「参加者の多くは、現場の第一線で活躍しながら会社経営も行う、プレイングマネージャーであるが、この勉強会で学んだことを活かした経営が業界全体の更なる発展にも繋がる」と

いう言葉を受け、それぞれが真剣な面持ちで参加をしている様子が感じられました。

講演会は途中でも質問を受付けるスタイルで進行し、多くの意見が飛び交い大盛況のまま予定時刻をもって終了となりました。

また、当勉強会開催に当たっては、計画段階から会員それぞれの意見を抽出し、「どうせやるなら、より実りのある勉強会にしよう!」を合言葉に、決定したテーマが「会社経営を主軸においた節税」について。これから次世代を担っていく青年部会らしいテーマ設定に、参加者からも「自社の経営にぜひ活かしたい」などの感想を多くいただきました。

この勉強会を締めくくりとし、2023年の青年部会メイン活動は終了となりましたが、引き続き青年部会として業界周知とPRを行うべく、積極的な活動を行って参ります。

## 全産連青年部協議会 全国大会in沖縄

全国産業資源循環連合会青年部協議会では、令和5年10月27日(金)に沖縄県那覇市にて「第12回全国大会 九州大会in沖縄」が開催されました。

コロナ禍の影響で4年ぶりの全国大会ということで、全国から700名を超える青年部の仲間が集まりました。今回の大会では「考動~今こそひとつに!!~」をテーマに、さまざまな制限がある中で、自ら考え、変化を恐れることなく行動することにより、今後の青年部活動をより強固なものとする場として団結しました。記念事業では映画のモデルにもなり、サンゴの養殖を世界で初めて成功された金城様のご講演や、同じくサンゴを守る活動をされている幾見様、沖電開発様を交えてのディスカッションなど、サンゴに関わることで見えてくる地球環境の現状や取組みを学んだ後、サンゴの苗付けに必要な台座に、それぞれの想いを記入し寄贈しました。

全国大会を通じて、普段なかなか会えない仲間と情報交換や交流をすることができ、今後の青年部、業界発展の為の有意義な時間となりました。このような貴重な経験を活かして、今後も業界のイメージアップ、地位向上に貢献して参ります。

# 全国産業安全衛生大会に参加して

参加者 ○石原大蔵、中野貞治、松本公子、室山晃一

令和5年9月27日～29日に「ポートメッセなごや」にて行われた全国産業安全衛生大会に参加してきました。

様々な分科会が催されておりましたが、我々は今回、同時に行われております緑十字展に参加しました。緑十字展は安全衛生の展示会では国内最大級のもので安全衛生や機械安全、職場環境改善等が紹介されており、今回は220以上の会社・団体が出展し過去最大規模の開催でした。安全担当をしている者にはディズニーランドに匹敵するテーマパークのように思える展示会です。来場者は、1日目約6,500人、2日目約12,000人、3日目約7,000人の合計約25,000人と多くの方が来ていました。

その中でも我々が特に関心を持ったのは10月1日から改正される2t以上の貨物自動車の昇降設備についてです。昇降設備を扱う大手メーカーの各ブースには多くの方が足を止め説明員の話に耳を傾けていました。現在、一部商品については売り切れ状態という事で全国的な関心の高さに驚きました。

また、VRの体感コーナーも多くありましたが、その中でもメタバース空間を利用した安全教育の体感が印象に残っています。メタバース空間の中でさらに体感型の安全教育が受けられるようになる時代も近づいているのかもしれない。

ブースの中には自社の商品の説明会を行う企業もあれば、新しい法改正の内容についてレクチャーしているブースもありました。今回は化学物質の管理についてという内容をブースで勉強させていただきました。説明はもちろんですが質問にも分かりやすく答えてくれます。

こちらの写真はアシックスが出している安全靴ですが、なかなか奇抜な2色使いです。話をしたメーカーの方は売れるのかと最初思ったようですが、現在完売しているそうです。ちなみに弊社従業員は先日同じものを購入しもったいなくてまだ履けないそうです。

同業者の安全担当さんから勧められ、毎年来場しており、昨年は3日間全て参加しました。代り映えない物もありますが法改正に関連する物やVRやIOTに関連する物は年々良い物が出来ております。来年は広島で行われる予定となっています。岡山から近いので是非参加して欲しいと思います。



# 災害廃棄物委員会

## 令和5年度岡山県災害廃棄物仮置場計画検討会議に参加

岡山県では平成30年豪雨災害の経験を踏まえ、災害廃棄物対策を推進するため令和2年度から令和4年にかけて災害廃棄物仮置場設置訓練を実施し、これを引き継ぎ令和5年度から新たに「災害廃棄物仮置場計画検討会議」を県民局ごとに1カ所開催することとなった。当協会は、災害時の協力団体として本事業に全面的に協力し、災害廃棄物委員会委員及び支部の連絡窓口員等が参加し、県及び市町村と顔が見える関係づくりを行った。

検討会議では、災害廃棄物処理の基礎研修を行った後、仮置場候補地の概要、適性検査結果の報告があり、グループに分かれて設置・運営計画に関する意見交換を行った。

### ○鏡野町災害廃棄物仮置場計画検討会議（美作県民局管内）

対象仮置場 「奥津箱パーク」（約11,000㎡、アスファルト舗装）

日時 令和5年9月25日、鏡野町公民館

令和5年11月8日、岡山県産業資源循環協会

参加者 岡山県6名、市町村13名、協会16名

内容 ・レイアウト、搬入搬出の動線等について意見交換  
・仮置場計画（案）の検討



### ○浅口市災害廃棄物仮置場計画検討準備会議（備中県民局管内）

対象仮置場 「金光スポーツ公園」（約9,000㎡）

日時 令和5年10月3日、倉敷市民会館

参加者 岡山県6名、市町村12名、協会10名

内容 レイアウト、搬入搬出の動線等の問題点と課題について意見交換し、大型車が通行できる搬入搬出路の確保等が大きな課題となった。



### ○玉野市災害廃棄物仮置場計画検討準備会議（備前県民局管内）

対象仮置場 「田井みなと公園」（約10,000㎡）

日時 令和5年10月4日、玉野市リサイクルプラザ

参加者 岡山県6名、市町村11名、協会5名

内容 レイアウト、搬入搬出の動線等の問題点と課題について意見交換し、液状化の問題、塩害対策、ヘリポート対応、敷鉄板の確保等が課題となった。



## 私の趣味

# グルメ

木下聖士

岡山東支部 新岡山陸運株



約6年前より本格的なグルメインスタグラムをやっております。

アカウント名は「オレンジっす」でアイコンも「オレンジっす」のマークを使用しています。

「オレンジっす」とは弊社 新岡山陸運株式会社のキャッチフレーズロゴです。

岡山を中心に高級料理からB級グルメまで幅広く紹介させていただいており、フォロワーは現在4900人ほどになっています。

元々はリクルートにつなげるという目的があり、若者が中心となって活用しているInstagramに一切仕事とは関係のないグルメばかり載せて「オレンジっす」のロゴやフレーズを潜在的に覚えてもらい、テレビCMや屋外広告をすることによって、Instagramで見ているやつがなぜテレビでやっているのか疑問に思い検索すると会社のホームページが出てきて認知度を高めようという試みです。

フォロワー数で言うとすごい人がたくさんいるのですが、「オレンジっす」Instagramの特徴は現在4850という投稿数。ざっと1年に800投稿というスピード。

もちろん全て足を運んでいるのでそれだけ食べているという証。

お店から無料ご招待のPR案件の案内が来たり、グルメインスタグラムが集まる食事会などにも参加するなど仕事とは関係のないつながりができるのも楽しいんです。

コロナも明けて県外出張も増えてきたので、県外に行く際には必ずご当地の美味しいお店を予約するという徹底ぶり。

2021年度版に載った岡山のミシュラン店約200店舗を全制覇しました。

県外のグルメで繋がった友達から予約困難店の席が空いたとの情報をいただいて、京都や大阪まで足を運んだり、北海道のミシュランのお鮎が予約取れたのでそれに合わせて飛行機を予約したりするほどの贅沢な趣味となっております。



それでは私が生涯で感動した素晴らしいお店をいくつか紹介します。

### 1 鮭さかい

まずは博多のミシュラン3つ星の「鮭さかい」。お寿司は北海道が美味しいと思っていたのですが、クオリティを追求すればやはり九州ですね。その中でもこのお店は最高でした。



### 2 料理屋 植むら

続いては神戸のミシュラン2つ星「料理屋 植むら」で食べた絶品松葉かに。繊維がボロボロと口の中で崩れます。仕入れ値が1ハイ10万円という日本最高級の蟹でした。



### 3 HAJIME

イノベティブというジャンルの料理をご存知でしょうか？いわゆる国境を越えた芸術的な料理。大阪のミシュラン3つ星「HAJIME」。この1品は食べるのは真ん中のサーモン。透き通ったお皿に魚を見立てて乗っているのはソースです。4時間半のフルコースでした。



このような絶品グルメもたまには行くのですが、普段は地元岡山のラーメンや定食等の投稿をしておりますので、ぜひInstagramで「オレンジっす」と検索していただいてフォローしていただければ幸いです。ランチに困ったときは「オレンジっす」Instagramを見ると非常に便利です。



今回紹介させていただいた素晴らしいお店の良いところは、料理はもちろん絶品なのですが、場の雰囲気やシェフとの気さくな会話を含めて最高の時間を提供してくれるのです。食は何歳になっても楽しめる趣味なので一食一食を大切に食べることで幸せが増します。

# 有限会社和気環境サービス

■会社名：有限会社 和気環境サービス

■代表者：代表取締役 松本 公子

■住 所：岡山県和気郡和気町日室139

TEL 0869-93-0473

FAX 0869-93-1556

■事業内容 産業廃棄物収集運搬  
下水道処理施設維持管理  
グリストラップ清掃及び運搬  
下水道管路清掃  
浄化槽維持管理、清掃  
一般廃棄物収集運搬



弊社は東備地域に拠点を持っている会社です。

和気町、備前市の吉永町で皆様に貢献しております。

周りの人に感謝しながら、「三方よし」の事業を展開したいと常日頃から頑張っています。

これからの循環型社会に少しでも貢献できるように頑張ってお励んでいく所存です。





# ゼノー工具 株式会社

ZENO TOOLS Co., Ltd.

ゼノー工具は、各種刃物の製造を通じ、  
3つの安全をお届けします。

需要者が安心して使用できる

従業員が安心して働ける

取引先が安心して取引できる

## SDGsへの取り組み

### 刃物を通じて地域貢献

多品種にわたる刃物の製造を通じ、お客様・取引先・従業員に対する安心をお届けし、豊かな地域の創造に貢献いたします。

### 平等な労働環境

性別・年齢・国籍を問わず、すべての従業員が平等かつ安全に働き続けられる職場環境整備に努めてまいります。

### 環境保護

主力製品である「回転刃」に新素材を活用することを検討し、耐久性の向上をはじめとした高付加価値化に取り組むことで、環境保護やリサイクルの効率化などに貢献してまいります。

### 健康経営

フィットネスクラブの利用助成、社内の運動部(フットサル、テニス、ゴルフ、マラソンなど)への取組サポート、禁煙促進活動などにより、すべての従業員の健康増進を目指します。

「刃物」を通じてみんなが豊かな社会を共創する

ゼノー工具 株式会社 <https://zeno.jp/>

本社 岡山県岡山市南区豊浜町10番32号 TEL.086-263-5445 FAX.086-265-0451

富浜工場 岡山県岡山市南区富浜町4番9号

名古屋営業所 愛知県海部郡大治町馬島山西47 FEUIZ山西202 TEL.052-462-0444 FAX.052-462-0443



協会設立30周年記念事業  
「廃材アートコンテスト」表彰作品

岡山県内の小学生から100点の応募があり、  
最優秀賞1点、優秀賞3点、特別賞3点、入賞  
17点を表彰しました。

## 編集後記

皆さんは、人間のような自然な会話ができるAI「チャットGPT」をご存じでしょうか？

この編集後記を、「チャットGPT」で作ってみました。

「チャットGPT」に与えた命令文は「産業廃棄物協会が設立30周年を迎え、協会名称を産業廃棄物協会から産業資源循環協会に変更しました。その点をふまえ協会の会報誌「クリーン岡山」の編集後記を『2023年をふりかえって』の題材で、10行で作成してください。」です。

指示してから数秒で下記の編集後記を「チャットGPT」が作成しました。

私は編集ならびに一文字も作成及び加筆もしていません。

驚愕です。人間以上に洗練された文章を機械が作成しています。

それがこれです。

### AI「チャットGPT」

#### 【編集後記】

産業廃棄物から産業資源へ、新たな一歩

2023年は、産業廃棄物協会が設立30周年を迎えた記念すべき年となりました。

また、この節目に協会名称を「産業廃棄物協会」から「産業資源循環協会」に変更しました。

この変更は、産業廃棄物を単に廃棄物として捉えるのではなく、資源として捉え、循環型社会の実現に貢献していくという協会の新たな決意を示すものです。

この1年、協会は、産業資源循環に関する情報発信や啓発活動を積極的に展開してきました。

また、産業資源循環の推進に向けたセミナーやシンポジウムなども開催し、多くの方々との交流を深めることができました。

今後も、産業資源循環の推進に貢献していくため、会員の皆様と共に取り組んでまいります。

クリーン岡山編集部

(by 033)

## 会報・クリーン岡山第68号

令和6年1月31日発行

発行 一般社団法人岡山県産業資源循環協会

〒701-1152岡山市北区津高628-6

TEL086-254-9383 FAX086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

### エコシステム山陽株式会社

代表取締役 山田耕司

〒七〇八一―一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原一―二五

電話 〇八六八―六二―一三四六

FAX 〇八六八―六二―一三四五

### 株式会社西日本アチューマツトクリン

代表取締役会長 藏本忠男

代表取締役社長 藏本悟

〒七〇三一―八二四五

岡山市中区藤原五〇―一

電話 〇八六―二七二―八〇四二

FAX 〇八六―二七一―一〇五〇

### タマタイ産業株式会社

代表取締役 大塚雅司

〒七〇〇―〇九三五

岡山市北区神田町二―一―二五

電話 〇八六―二二四―三二九一

FAX 〇八六―二二三―六三五四

### 牛窓港湾運輸株式会社

代表取締役 田中大一

〒七〇一―四三〇一

瀬戸内市牛窓町長浜四九九―二

電話 〇八六九―三四―四九七八

FAX 〇八六九―三四―四一五五

## 謹賀新年



### 新岡山陸運株式会社

代表取締役 木下聖士

〒七〇二―八〇〇五

岡山市中区江崎七四六―三

電話 〇八六―二七六―一一一一

FAX 〇八六―二七六―二二六六

### 株式会社石原工務店

代表取締役会長 石原孝

代表取締役社長 石原彰二

〒七〇四―八一―九三

岡山市東区金岡西町八〇―一―一

電話 〇八六―九四二―五一五一

FAX 〇八六―九四二―一五九五

### 株式会社野崎運輸機工

代表取締役 野崎剛正

〒七〇四―八一―九四

岡山市東区金岡東町二―一四―三三

電話 〇八六―九四二―三三八一

FAX 〇八六―九四三―七九二七

### 株式会社日本資源開発社

代表取締役 林 大悟

〒七〇九―〇六〇七

岡山市東区浦間一一〇二

電話 〇八六―二九七―二二二八

FAX 〇八六―二九七―二三一四

## 株式会社 岡清組

代表取締役 藤井 武士

〒七〇〇—〇八六六

岡山市北区岡南町二—五—七

電話 ○八六—二三三—七二三〇

FAX ○八六—二二六—〇一一三

## 有限会社 井上設備

代表取締役 井上 實

〒七〇二—八〇二四

岡山市南区浦安南町五八四—三

電話 ○八六—二六三—八七四五

FAX ○八六—二六三—八四六四

## トラスト・クリーン株式会社

代表取締役 室山 宣英

〒七〇〇—〇九四一

岡山市北区青江四—二二—二〇

電話 ○八六—二五九—五五八八

FAX ○八六—二五九—五五七七

## 明和建設株式会社

代表取締役 黒田 正義

〒七〇九—〇六三一

岡山市東区東平島一三九七

電話 ○八六—二九七—三七三七

FAX ○八六—二九七—四七二二



## 岡山礫油株式会社

代表取締役 細羽 剛史

〒七〇二—八〇四五

岡山市南区海岸通二—六—一三

電話 ○八六—二六四—六八六六

FAX ○八六—二六四—六八六七

## 有限会社 岡一総業

代表取締役 頼 礼

〒七〇四—八一九六

岡山市東区金田四七〇—一

電話 ○八六—九四三—八六三一

FAX ○八六—九四二—九七八〇

## 有限会社 片岡久工務店

代表取締役 片岡 重治

〒七〇二—八〇三三

岡山市南区福富東二—一七—一三

電話 ○八六—二六三—二〇一〇

FAX ○八六—二六三—二四六八

## 栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀川 英治

〒七〇〇—〇九四三

岡山市南区新福二—七—二〇

電話 ○八六—二六五—一二三四

FAX ○八六—二六五—七七二二

## 安田産業株式会社

代表取締役社長 安田 猛

〒七〇二一八〇三六

岡山市南区三浜町一―一―一八

電話 〇八六―二六三―三〇六一

FAX 〇八六―二六三―三〇二九

## 中野開発株式会社

代表取締役 中野 貞治

〒七〇一―二一四二一

岡山市北区玉柏七五

電話 〇八六―二二九―二三一六

FAX 〇八六―二二九―三一七五

## キヨクトウ有限公司

〒七〇九―〇八六一

岡山市東区瀬戸町瀬戸六四六

電話 〇八六―九五二―〇三八四

FAX 〇八六―九五二―一九七七

## 株式会社 西日本マックス

代表取締役 金山 昇司

〒七〇二一八〇一一

岡山市南区郡三〇〇番地

電話 〇八六―二六七―九九五五

FAX 〇八六―二六七―九九七七

## 有限会社 吉美

代表取締役 石原 恵一

〒七〇一―〇一六五

岡山市北区大内田一三六七―一

電話 〇八六―二九三―一〇五二

FAX 〇八六―二九二―二〇二〇

## 有限会社 和気環境サービス

代表取締役 松本 公子

〒七〇九―〇四二一

和気郡和気町日室一三九

電話 〇八六―九一三―〇四七三

FAX 〇八六―九一三―一五五六

## 藤クリーン株式会社

代表取締役 松田 一寿

〒七〇二一八〇二六

岡山市南区浦安本町一三三―二

電話 〇八六―二六四―八七七五

FAX 〇八六―二六四―八七九七

## 小野建設株式会社

代表取締役 小野 勝己

〒七〇一―二二〇五

岡山市北区佐山一三六四―三

電話 〇八六―二八四―七一一一

FAX 〇八六―二八四―六八五四

## 妹尾産業有限公司

代表取締役 畑 貞夫

代表取締役 畑 英男

〒七〇一―〇二〇六

岡山市南区箕島一三〇六―二六

電話 〇八六―二八二―〇五二一

FAX 〇八六―二八二―〇六四七

## 株式会社フルカワ商事

代表取締役 古川悦生

〒七二〇〇八三五  
倉敷市四十瀬三四三―三  
電話 〇八六―四二四―八〇二〇  
FAX 〇八六―四二七―三六九九

## 水島エコワークス株式会社

代表取締役社長 藤井和夫

〒七二二一八〇七四  
倉敷市水島川崎通一―一四―五  
電話 〇八六―四四七―三二五五  
FAX 〇八六―四四七―三二五七

## 倉敷企業株式会社

代表取締役 井上正士

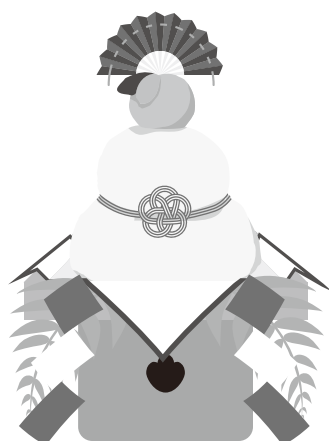
〒七二〇〇八四二一  
倉敷市吉岡二九三―一  
電話 〇八六―四二四―六四二九  
FAX 〇八六―四二一―九一九〇

## 山陽美業株式会社

代表取締役 室山晃一

〒七二〇〇八二六  
倉敷市老松町二―一三―三〇  
電話 〇八六―四三四―三五〇〇  
FAX 〇八六―四二二―一三三一

# 迎春



## 協同組合 倉敷市環境保全協会

代表理事 岡井智之

〒七二〇〇〇三八  
倉敷市新田二三二二―八  
電話 〇八六―四二二―七三七一  
FAX 〇八六―四二一―五四二七

## 株式会社ビーシー工業

代表取締役 富本泰司

〒七二二一八〇五一  
倉敷市中畝九―一二―三七  
電話 〇八六―四五六―三四二一  
FAX 〇八六―四五六―五八四三

## 株式会社 田中商会

代表取締役 田中剛

〒七二〇〇八〇三  
倉敷市中島一三九五  
電話 〇八六―四六五―三〇五〇  
FAX 〇八六―四六五―三〇五一

## J&T環境株式会社 倉敷営業所

所長 阪井英明

〒七二二一八〇〇六  
倉敷市連島町鶴新田二一七七―一  
電話 〇八六―四四七―〇〇八一  
FAX 〇八六―四四七―〇〇八二



## 山本舗材株式会社

代表取締役 山本 堅司

〒七二一〇九〇六

倉敷市児島下の町三一四一四六

電話 ○八六―四七三―一一七三

FAX ○八六―四七三―一一八三

## 株式会社 日住

代表取締役 高橋 克実

〒七一九一〇二五四

浅口市鴨方町六条院東五〇九

電話 ○八六五―四四―七八八

FAX ○八六五―四四―六五一三

## 山陽興産株式会社

代表取締役 大本 修身

〒七一六一〇〇四五

高梁市中原町一五四二一六

電話 ○八六六―二二―一〇三五

FAX ○八六六―二三―一三二六

## 福栄産業株式会社

代表取締役 田中 康浩

〒七二二一八〇五五

倉敷市南畝六一八―四一

電話 ○八六―四五五―六二四七

FAX ○八六―四五五―一一七〇

## 坂川建設鉦業株式会社

代表取締役 坂川 晃一

〒七二四一四〇五五

井原市美星町字戸一〇五五

電話 ○八六六―八七―二六二六

FAX ○八六六―八七―二六二七

## 山陽環境開発株式会社

取締役会長 岩元 博

代表取締役社長 岩元 達也

〒七一八一〇〇〇三

新見市高尾二三〇四―一

電話 ○八六七―七二―五四一五

FAX ○八六七―七二―一七八〇

## 有限会社 ナカイチ

代表取締役 中山 一将

〒七二二一八〇一一

倉敷市連島町連島一四二―一三七

電話 ○八六―四四八―六二四二

FAX ○八六―四四八―〇九三九

## 株式会社 アースクリエイト

代表取締役 三好 員弘

〒七二四一二二一五

小田郡矢掛町中一七〇

電話 ○八六六―八二―三〇三一

FAX ○八六六―八二―三四〇〇

## 株式会社 平松運輸

代表取締役 平松 敬史

〒七一六一〇二〇七

高梁市川上町仁賀六二七

電話 ○八六六―四八―三五八八

FAX ○八六六―四八―三二六一

## 株式会社 新岡山工業

代表取締役 田口孝利

〒七〇八一―一五二三  
久米郡美咲町吉ヶ原字稻千一〇四八―二  
電話 〇八六八―六二―二七七五  
FAX 〇八六八―六二―二七七六

## 坂田碎石工業株式会社

代表取締役 近堂申洋

〒七〇九―三六三一  
久米郡久米南町山手六四五  
電話 〇八六―七二八―二八一〇  
FAX 〇八六―七二八―二四六〇

## 株式会社 三美産業

代表取締役 妹尾芳訓

〒七一六一―〇二〇三  
高梁市川上町三沢四三四二―二  
電話 〇八六六―四八―二八七八  
FAX 〇八六六―四八―二八七九

## エコシステムジャパン株式会社

代表取締役 辻本健二

〒七〇八一―一五二三  
久米郡美咲町吉ヶ原一〇四八―二  
電話 〇八六八―六二―一三三一  
FAX 〇八六八―六二―一三四〇



## 株式会社 フクイクリーン

代表取締役 上杉有梨

〒七〇七―〇〇二四  
美作市橋原下一四五  
電話 〇八六八―七二―一〇一九  
FAX 〇八六八―七三―〇四五五

## 株式会社 廃棄物センター

代表取締役 河原 淳

〒七〇八一―〇〇一三  
津山市二宮八七〇  
電話 〇八六八―二八―二〇五一  
FAX 〇八六八―二八―二一四八

## 竹藤建設株式会社

代表取締役 竹藤 健太郎

〒七一九―三三〇一  
真庭市久世二九二〇―一  
電話 〇八六七―四二―一〇一〇  
FAX 〇八六七―四二―五〇二七

## 末沢建設株式会社

代表取締役 末澤 由博

〒七〇八一―一二二六  
津山市押入一三一九―七  
電話 〇八六八―二六―一七三三  
FAX 〇八六八―二六―一七二二



# 野崎産業株式会社 株式会社野崎運輸機工



昭和46年4月に土木工事業で野崎産業株式会社 創業  
昭和51年3月に産業廃棄物収集運搬業を  
株式会社野崎運輸機工として分社化  
水密性ダンプに特化し、他社との差別化を図る

〒704-8194 岡山県岡山市東区金岡東町2-14-33  
野崎産業株式会社、株式会社野崎運輸機工  
代表取締役 野崎剛正  
TEL 086-942-3651 FAX 086-943-7927



必要な補償を加入しやすい共済掛金で  
ご提供したいという 思い

ONE FOR ALL,  
ALL FOR ONE

一人の組合員がすべての組合員のために、  
すべての組合員が一人の組合員のために

この度、岡山県産業資源循環協会様に自動車共済(自動車保険)集団団体の取扱いをしていただけることになりました、西日本自動車共済協同組合と申します。

『一人の組合員がすべての組合員のために、すべての組合員が一人の組合員のために』お互いに助け合う総合扶助が、当組合の理念でございます。会員企業の皆様に必要な補償を加入しやすい共済掛金でご提供できるよう努めています。また、交通事故・故障 が起こった際には、迅速な対応で専門のスタッフが全力で解決に向けサポートしてまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 10台以上 お車を所有の事業所様向け 共済独自のフリート制度！



### 選択型フリート契約



企業体（営利・非営利または法人・個人事業主を問いません。）が所有・使用のお車（用途・車種問わず）を1年間に10台以上当組合にご契約いただく場合、フリート契約のお取扱いとなります。西日本自動車共済のフリートでは共済独自の選択方式により、「包括方式」と「個別方式」の2種類をご用意しています。事業の特性や事故発生状況等のリスクに応じて、いずれかをご選択いただけます。

**A 方式** フリート「包括方式」  
(損保会社フリートと同じ方式)

事故を起こしても、  
全体の損害率が軽微なら  
一斉に  
割引率アップ!

1回の大きな事故で、全車両の共済掛金が高くなってしま  
う可能性があります。

**B 方式** フリート「個別方式」  
(自動車共済独自の方式)

**共済  
独自**

事故車は  
等級UP!

等級ダウンし掛金が高くなるのは  
事故を起こした車両のみ

事故車のみ  
等級ダウン!

大きな事故でも他の車両の等級には影響せず共済掛金の  
総額は安定的です。

- 本チラシは自動車共済とフリート契約方式の概要を記載したものです。詳しい内容につきましては共済代理所または担当支部までお問合せください。
- フリート契約者登録時に「包括方式」でお申込み後、「個別方式」への変更はできませんのでご注意ください。「個別方式」から「包括方式」への変更は可能です。●【現在、他社においてフリート契約の取扱いを受けているお客さまの場合】他社でのフリート契約内容(料率審査日 および 料率審査日より適用するフリート割引・割増率)が確認できる資料をご提出いただけます。●【ご契約いただくお車に関する確認について(お願い)】ご契約いただくお車を確認するため、自動車検査証等のコピーをいただきますので、予めご了承ください。●【はじめてフリート契約者となるお客さまの共済契約に適用される基本共済掛金について】ノンフリート契約からフリート契約へのお取扱変更にもない、共済契約に適用される基本共済掛金もノンフリート基本共済掛金からフリート基本共済掛金へと変更となります。●ご契約の際には、必ず「重要事項説明書」をお読みください。●共済代理所は西日本自動車共済協同組合との委託契約に基づき共済契約の締結・共済掛金の領収等の代理業務を行っております。共済代理所と締結され有効に成立した共済契約は西日本自動車共済協同組合と直接契約されたものとなります。●自動車共済にはじめてご加入の際には、ご契約のお車の台数に関係なく、共済掛金とは別に出資金(1口1,000円)または員外利用料が必要となります。